

東浦町観光協会

織田信長・水野連合軍が、今川軍に勝利した戦い

1554年（天文23）村木砦の戦い（東浦町森岡取手）



令和 6年 5月 18日（水）
（2024年）

東浦ふるさとガイド協会

酒井 建次

村木砦の戦い

1554年

初めて信長が
鉄砲を実戦使用

桶狭間の戦いの
6年前

長篠の戦いの
21年前

「村木砦の戦い」とは

織田信長の名を天下に
知らしめた

「桶狭間の戦い」の 6年前
(前哨戦?)

* 村木砦 (東浦町森岡取手) を
守る今川軍と

織田信長・水野信元連合軍との
戦いがあり、連合軍が勝利

* 信長が、戦いで初めて鉄砲を使った



村木砦社の石碑
後方が武豊線

信長公記の「村木砦の戦い」

* 1 「信長公記（しんちょうこうき）」

（太田牛一著首巻+全16巻）の
首巻の16番

「村木の取出（砦）攻めらるるの事」



〈参考〉鉄砲の日本伝来は、11年前の天文12年（1543年）

織田・徳川連合軍VS武田勝頼軍長篠の戦いは、

15年後の天正3年（1575年）である。

東尾張と三河の勢力図 (1524年頃?)

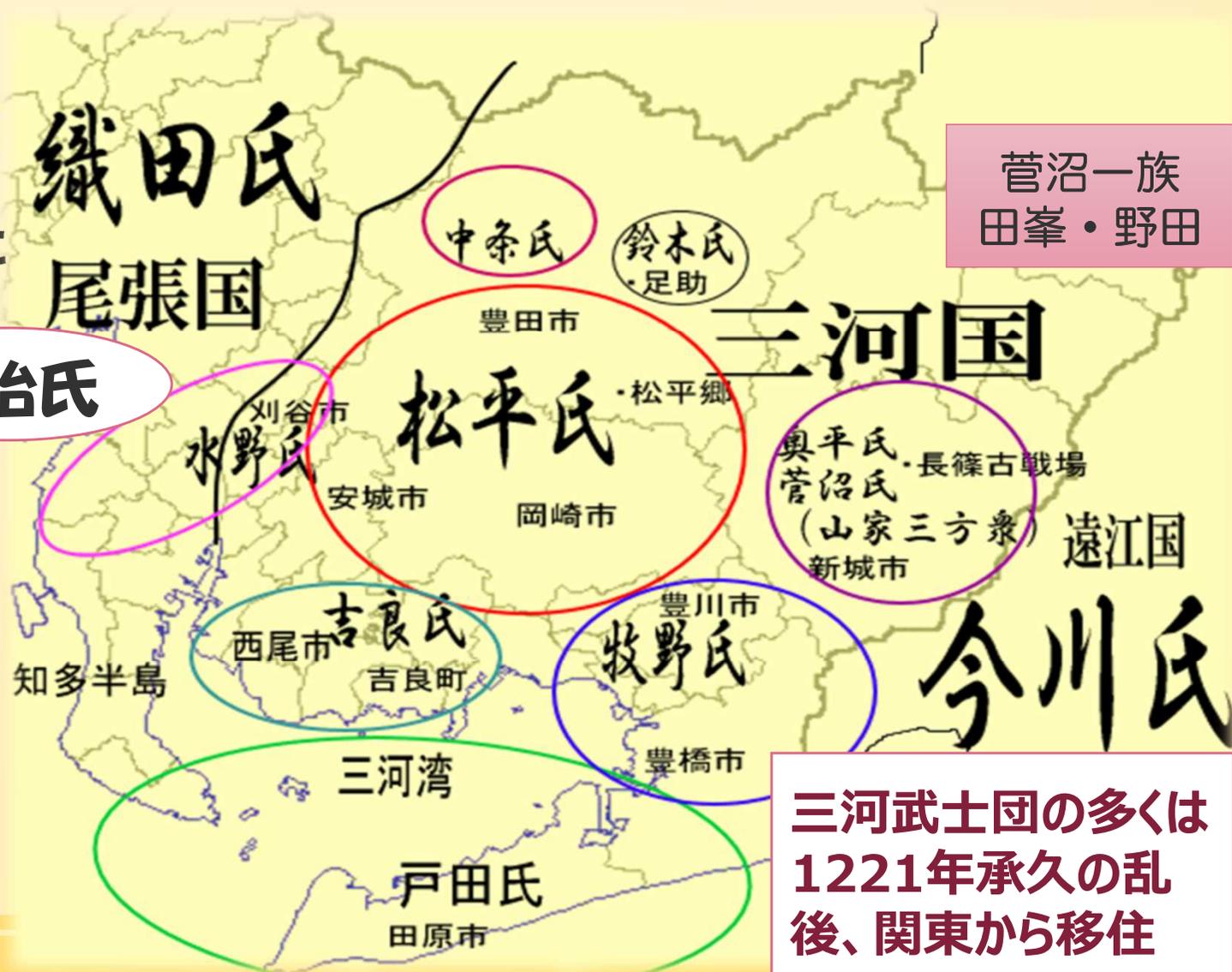
- 室町時代後半、駿河(するが)と遠江(とおとうみ)を領有 (守護職)

する今川義元は、
三河を攻略し尾張
にも進出しはじめた

佐治氏

1524年：
安祥4代松平清
康が大草松平
昌安の岡崎城を
攻める

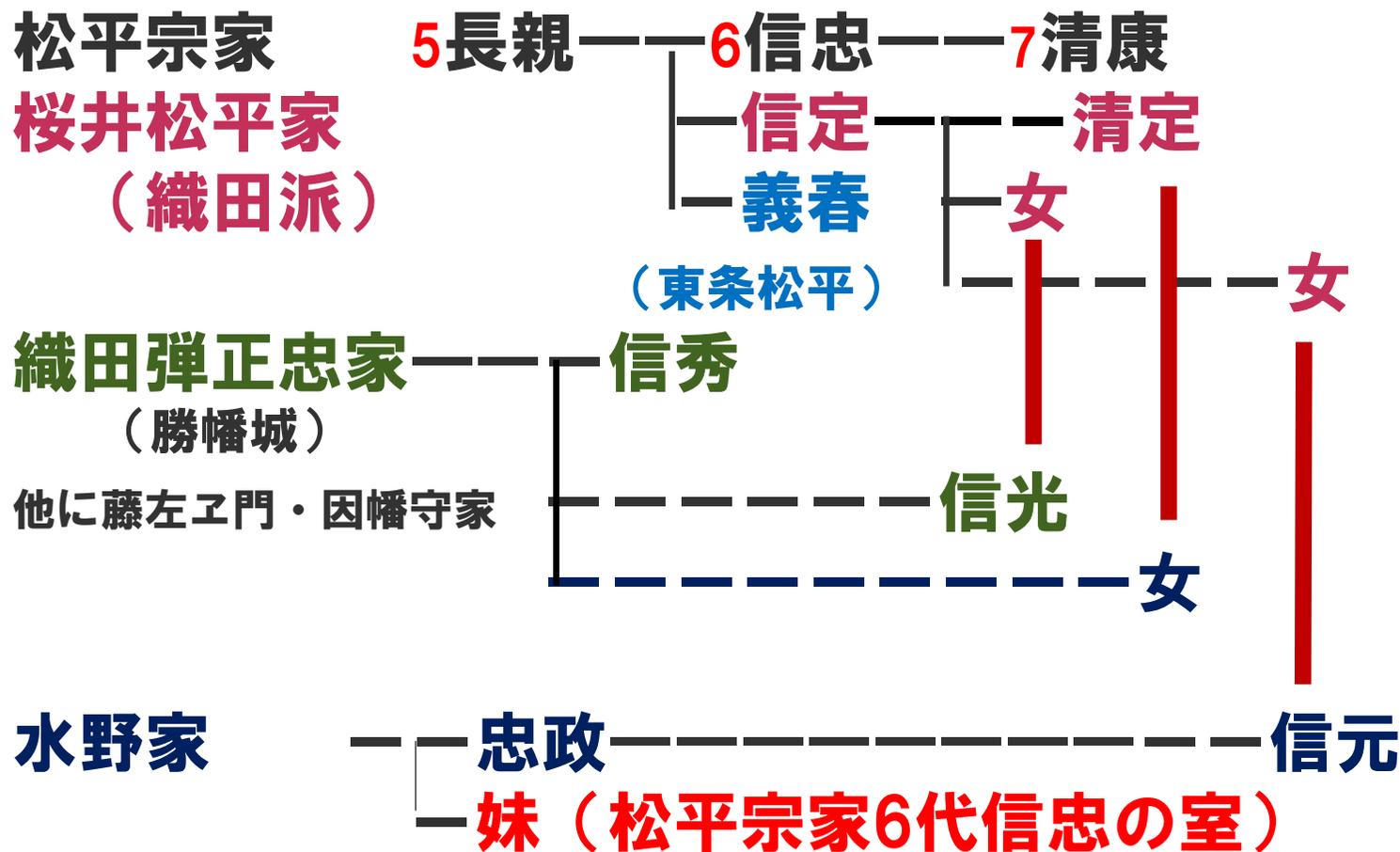
1525年：清康が
足助城鈴木
重政を墜とす



三河武士団の多くは
1221年承久の乱
後、関東から移住

当時の三者（織田・水野・松平）の婚姻関係 2

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 清康 広忠
	信秀の妹が松平信定嫡男清定の正室	忠政の妻は、大草松平昌安の娘 →その子が信元、於上（おじょう） →信元の妻は桜井松平信定の娘	1526年頃 清康安祥城から 現岡崎城へ



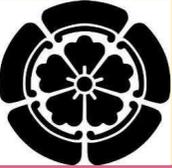
桜井松平信定は当初から織田派弟義春は後に村木砦の城将

松平信定の娘は、織田信光と水野信元に嫁ぐ（信光と信元は義兄弟となる）

当時の三者（織・水・松）の関係

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 清康 広忠
大永年間 1521~28	今川9代氏親が那古野城（現名古屋城）を築城（尾張進出） （信秀が、1538年今川氏豊（義元の弟）を騙して奪取）		
1533 （天文2）		忠政刈谷城 （亀城）を築城	松平宗家7代（岡崎城） 清康 東三河へ進出
1535	織田信秀の弟 信光が守る守山城を清康に攻められる。 信秀・松平信定 VS 織田藤左エ門尉 寛故（とおまさ）・ 松平清康	松平氏とは友好 → 水野信元守山城 攻めに行軍中 ←織田とも協力 関係の ←両面外交→	守山（森山）崩れ 清康暗殺 享年25才 跡を広忠が継ぐが、 祖父信忠の弟の 桜井松平信定に岡 崎城から追放される

当時の三者（織・水・松）の関係

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1540	信秀安祥城を 落し、庶長子 信広を置く	←忠政 織田信秀の 安祥城攻めに加担	広忠 対織田の助 力を得るために水野 氏に縁談を申入れ
1541 (天文10)		於大14才 嫁ぐ→	松平広忠16才
1542 (天文11)			於大15才竹千代を (後の家康) 出産
1543		忠政 没し、 信元が継ぐ	
1544 (天文13)	信秀 水野信元 と同盟→	←信元織田信秀 と同盟織水同盟	←広忠 於大 (17才) を離縁

当時の三者（織・水・松）の関係

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1547	竹千代は熱田加藤屋敷へ。信長と出会う。信秀加納口の戦いで道三に負ける		竹千代人質として駿府へ送られる途中、田原城で戸田康光の裏切りで織田方へ
1548 (天文17)	織田信秀VS今川・松平広忠		織田との小豆坂の戦い
1549 (天文18)	信広：竹千代と交換 信長（16才）道三の娘帰蝶（濃姫）と結婚	 今川方の盛り返し	広忠 死去24才 今川義元の軍師 太原雪斎(たいげんせっさい)が安祥城を攻め信広を生け捕り。竹千代(8才、後の家康)は人質交で駿府へ。

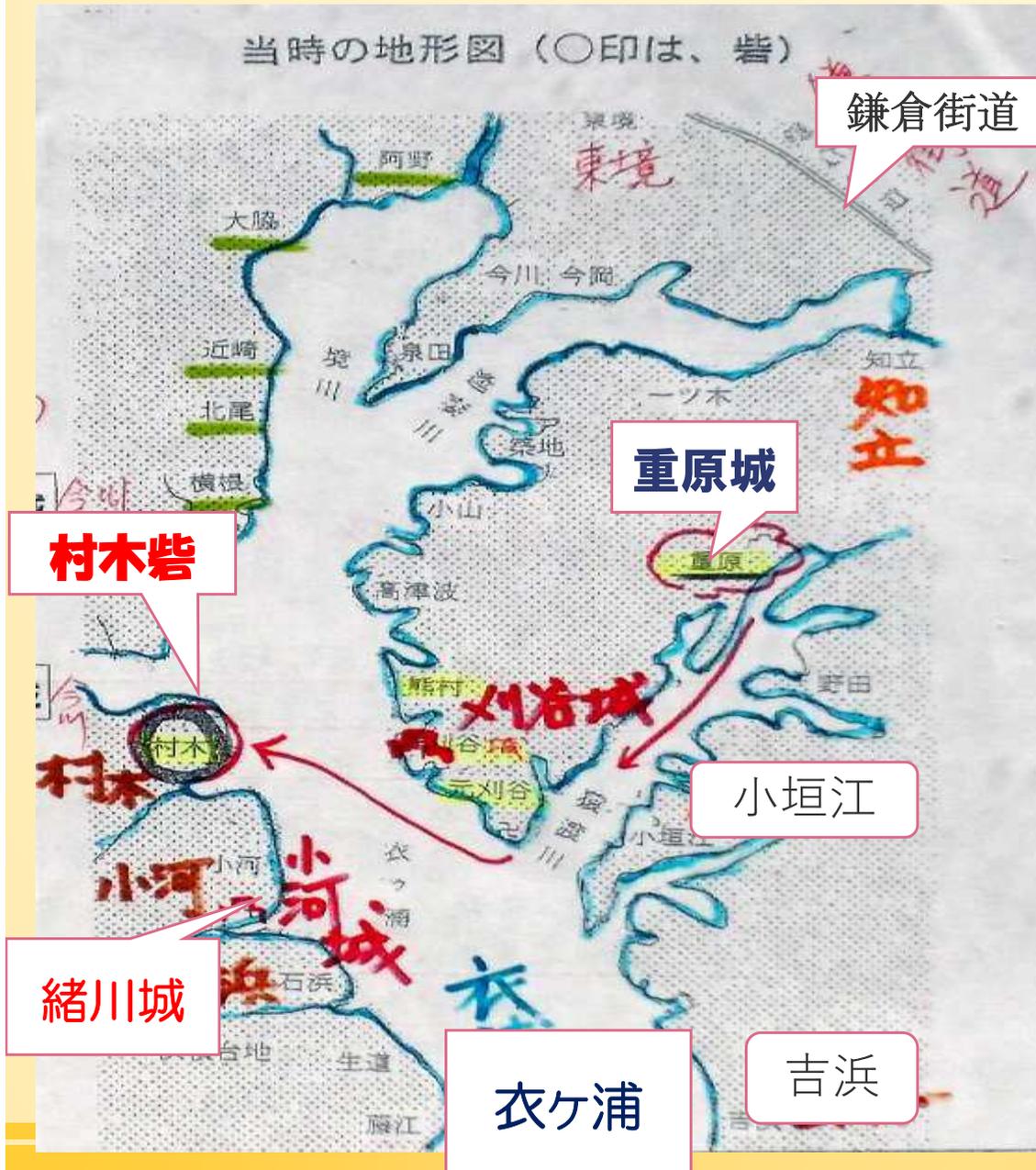
当時の三者の関係

年	 織田 信秀 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1551 (天文 20)	<p>信秀没し、信長 (18才) が跡を 継ぐが、家内を まとめるに至らず。 織田本家2家 (岩倉・清州) とも 軋轢 (まさに内憂・ 外患の苦しい 時期だった)</p>	<p>今川方の 盛り返し</p>	<p>今川方は、 織田方の 重原城、沓掛城、 鳴海城、大高城 を自軍へ取込む</p>
1553 (天文 22)	<p>信長 斎藤道三 と初対面 富田の聖徳寺</p>		

当時の三者（織・水・松）の関係

年	 織田 信長	 水野 忠政 信元	 松平 広忠
1553 (天文22)	救援を乞われるが直ぐには出れず	← 砦を造られた	池鯉鮒（ちりゅう）重原城から村木村を急襲し砦を造る
1554 (天文23)	1月24日 8～16時 村木砦の戦い （守る今川勢の将は、東条松平義春）		
1557 (弘治3)			松平元信16才（家康）と今川義元の姪瀨名姫（築山殿）と結婚
1558 (永禄元)		1回目 石ヶ瀬川信元VS元康17才の戦い 義元の命で水野を攻める	

村木砦の築城



天文22年 (1553)

今川方は、

地理的、戦略的に重要な知多半島北東部の

三河と尾張の境で衣浦湾に突出した村木村 (現大字森岡) に、

池鯉附 (現知立市) 重原城から船で急襲し、砦を築く。

村木砦の築城



これが「**村木砦**」であり、城将として、東条松平甚太郎義春（よしはる）を置いた。

東条松平は、5代松平長親が興した（息子たち）の福釜・桜井・藤井・青野（東条）松平家の一つ

織田信長の救援

緒川城主であった**水野信元**は、**信長に救援を依頼**、

翌年の天文23年

(1554) 1月20日、

那古野(なごや)城の

織田信長・**信光** (信長の

叔父) 軍は、

嵐の中、緒川へ出兵した。

(23日緒川城に泊まる)



陸路は鳴海城・大高城
海路は南の寺本城は今川勢

織田信長の救援

なお、信長的那古野城の守りは、

岐阜城の斎藤道三から、安藤伊賀守守就（もりなり）ら
1,000名の兵を借りて守らせた。

（ VS 弟信行や清州城織田大和守信友 ）



*** 現在の名古屋城二ノ丸の 那古野城跡の碑**

織田軍の布陣

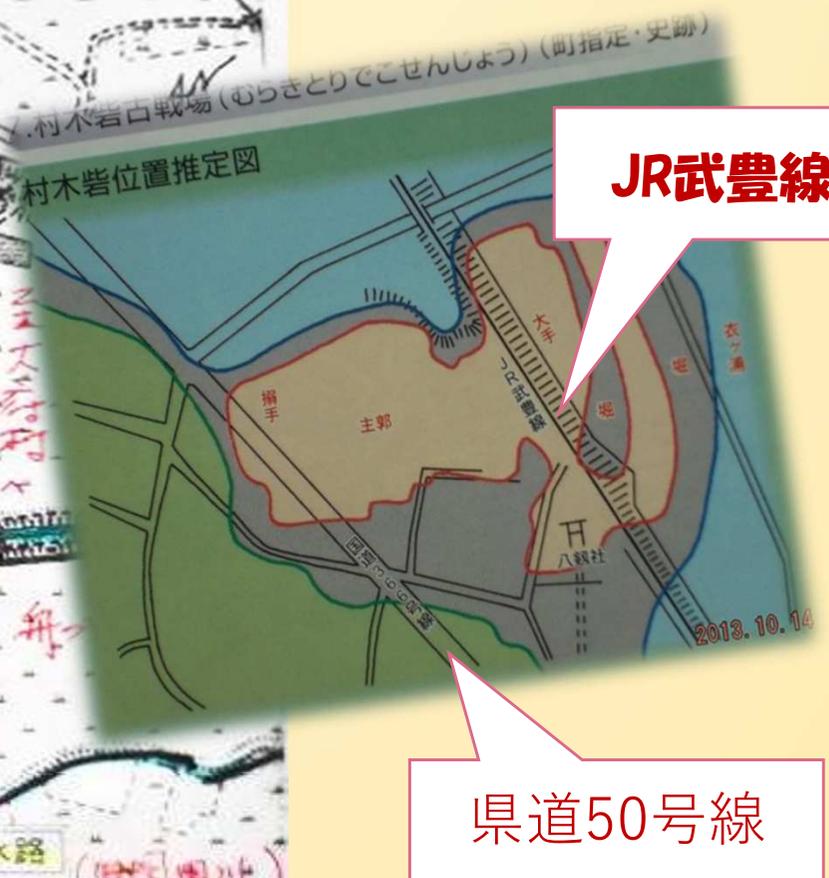


村木砦

織田信光軍
後狭間

織田信長軍本陣
天王社 (村木神社)

地図は1893年 (明治26)



JR武豊線

県道50号線

村木砦の戦い（当日）

天文23年（1554）1月24日

辰の刻（8:00）から始まり
申の下刻（16:00）頃に**勝利**

（布陣）

南の大堀：織田信長軍

戦いで初めて鉄砲を使った

西の搦め手：織田信光軍
（信長の叔父）

東の海岸：水野信元・忠守軍



信長が戦いで初めて鉄砲を使った・・

信長公記より

・・信長堀端に御座候て、鉄砲にて狭間三ツ御請け取りの由仰せられ、鉄砲取りかへ取りかへ放させられ・・・
実際には、数挺の鉄砲を取りかえて撃ったものと思われるが、音だけでも相当な効果があったのでしよう。

鉛玉2つが発掘され森岡小学校で保管していたが、移転の際、紛失してしまった由



DENIX
種子島式火繩銃
(中)

当時の価格

伝来時：5～6千万円

*（諸説有：約1千万円～約1億円）

国産化した永禄時代：50～60万円

戦い後・・・

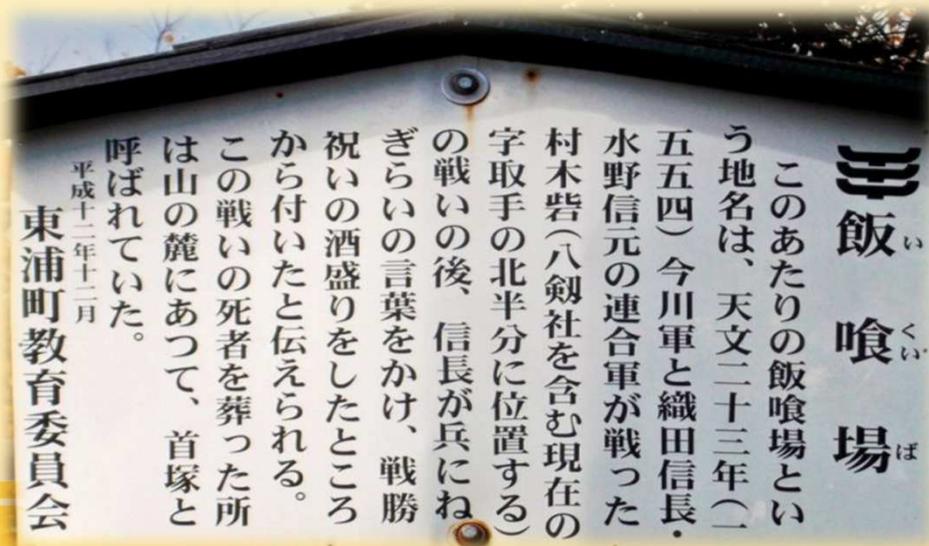
飯喰場 (いくいば)

織田・水野軍が祝宴を催した場所

信長が多くの家臣の死に涙を流した。

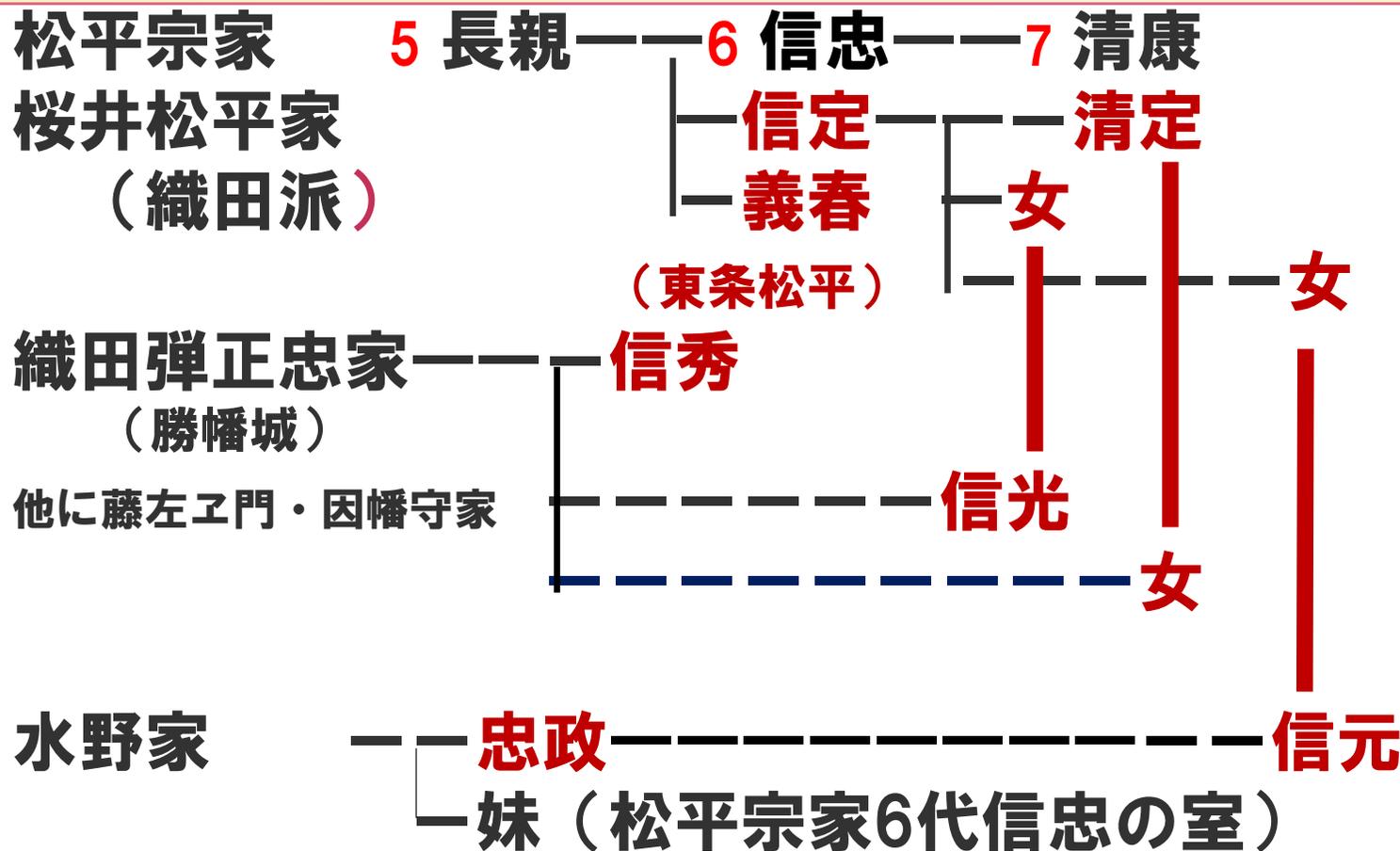
戦死者を葬ったと思われる所

(首塚)もこの付近。



*** 敗軍将兵の始末は信元に一任された**
信元は、将兵（三河兵？）を助命しま帰らせた

*** 当時の三者（織田・水野・松平）の婚姻関係から ***



松平信定の娘は、
 織田信光と
 水野信元に嫁ぐ
 (信光と信元は
 義兄弟となる)

「義春は信元の義叔
 父(ぎしゅふ)になる
 ため後々の松平との
 関係を考えか？」

信長の帰陣と舅・齊藤道三の反応

翌25日、信長は寺本城下（裏切った花井氏）に火を放ち、那古野城へ帰った。

那古野城へ派遣した安藤伊賀守
守就（もりなり）の報告を聞いた

齊藤道三は、

「すさまじき男、

隣にいやなる人にて候よ」

と申したる由



寺本城跡

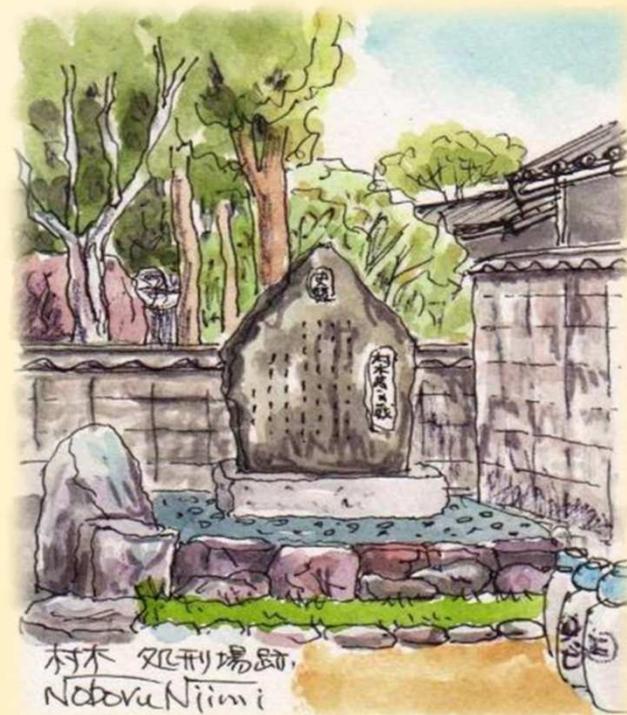


稲葉山城

村木村村民の悲劇

処刑場跡

- 「村木砦の戦い」で、無理やり今川方に協力させられ村木村の人たちが、信長の命で反逆者として村役人によって処刑された場所。
- その後、村木村に移り住んだ
- **水野氏の一族の子孫**が、祠(ほこら)をつくり供養した。 (**観音会**：かんのんえ)
- 現在も、供養は続いており、東浦ふるさとガイドが毎年お参りしている
* (2020年からは中止している)



戦いの慰霊 その2

八剱社 (やつるぎしゃ)

戦いの17年後の1571年

(元亀2)、水野信元家臣

清水八衛門家重・権之助政春兄弟が、

犠牲者・戦死者への慰霊の

ために 砦南東の端に建立したものの

この付近には、**取手(とりで)貝塚**があり、

製塩土器のかけらも出土している



2013. 10. 12



村木砦の戦い 勝利の意義（結論）

1. **勝利した 織田信長** にとっては
 - (1) この後、家内外の争いを収め、
尾張全郡（52万石）を征し、
6年後の **桶狭間の戦い** を迎える準備ができた。
 - (2) そして、**信長は戦いで初めて鉄砲を使った**

もし戦いに負けていたら、後の信長はなかった

（後の家康にとっては、**小牧・長久手の戦い** に相当か）

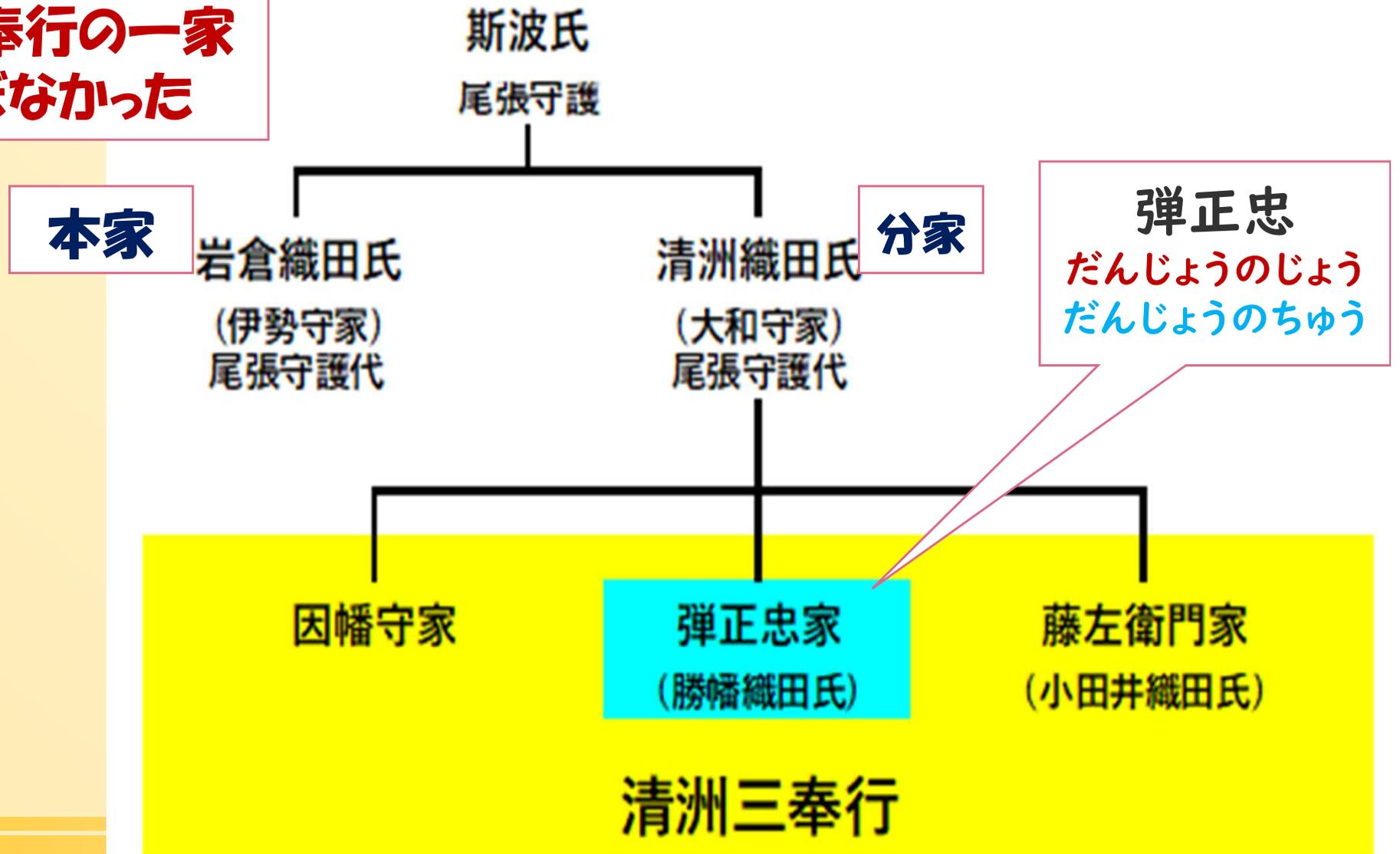
2. **水野信元**については、

織田方との同盟を鮮明にして11年、その立証ができた

信長の家督を継いでから桶狭間の戦いまでの9年間

織田弾正忠家は、
守護代織田家の分
家の三奉行の一家
に過ぎなかった

尾張国の守護・守護代と清洲三奉行



家督を継いでから桶狭間の戦いまでの9年間

内憂：実弟信行（母 土田御前 **どたごぜん**）



重臣（林美作 **みまさか** 兄弟、柴田勝家）の離反

外患：鳴海城山口乗継が離反し、隣接の沓掛城・

大高城も離反

主家の清州城 織田大和守信友、

本家の岩倉城 織田伊勢守信賢 との軋轢

家督を継いでから桶狭間の戦いまでの9年間

西暦(年)	和暦(年)	出来事
1551	天文20	信秀没し、信長(18才)が家督を継ぐ 鳴海城山口乗継が離反し、隣接の沓掛城・大高城も離反
1552	天文21	今川勢が、織田方の知立重原城を奪取 赤塚の戦い: 信長今川方鳴海城主山口教吉(のりよし)と戦う 萱津の戦い: 信長・信光が、清州城主織田信友と戦う
1553	天文22	* 信長、舅斎藤道三と聖徳寺(一宮)と初会見 今川勢 重原城から船で急襲し、「村木砦」を築く

家督を継いで桶狭間の戦いまでの9年間

西暦(年)	和暦(年)	出来事
1554	天文23 (21才)	村木砦の戦い （桶狭間の戦いの6年前） 織田信光 が尾張下四郡清州城主 織田信友 を謀殺し、 清州城へ織田信長 が入る。（24万石を収める）
1555	弘治1	叔父 織田信光 が不慮の死（暗殺か？諸説あり）
1556	弘治2	齊藤道三が義竜（反信長）との戦いで没（後盾を失う） 稻生の戦い （名塚砦:西区）： 織田家の内紛 信長 ＋ 佐久間盛重 ＋ 森可成 VS 弟信行 （末森城）＋ 柴田勝家 ＋ 林美作守 信長、生駒屋敷で、6才年上の吉乃（きつの）と出会い、 翌年 信忠誕生



白山社（名塚）

家督を継いで桶狭間の戦いまでの9年間

西暦(年)	和暦(年)	出来事
1558	永禄元	浮野（一宮）の戦い ：信長、岩倉城主織田信賢と戦う 信長、弟信行を清州城に呼び出し殺害
1559	永禄2	尾張上四郡28万石守護代岩倉城主織田伊勢守信賢を征し、 尾張全郡52万石 を収める (従兄弟の犬山城織田信清も含む) 岩倉織田家の家老山内盛豊は一豊（5才）の父
1560 (6月10日)	永禄3 5月19日	桶狭間の戦い ：織田信長27才、今川義元42才 信長2,000 VS 今川25,000

「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 松平 元康
1560 (永禄3)	桶狭間の戦い 	信元が元康へ使者→ 岡部元信鳴海城から 撤退時刈谷城を急襲 信近討たれる ??	信元の進言で、大高城 から撤退し、岡崎城へ 入城 (駿府へ帰陣せず)
1560 1561		2回の石ヶ瀬の戦い (信元VS元康)	
1562 (永禄5)	尾三(清洲)同盟	←同盟を斡旋→ (織水松 同盟)	尾三(清洲)同盟
1563	清州城→ 小牧山城 へ	信元・忠重が 元康を 助けた →	三河一向一揆で苦戦 三河三寺と末寺220 上宮寺、本證寺、勝鬘寺 元康→家康に改名
1564		元康を助けた →	三河一向一揆を鎮圧

「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 徳川 家康
1566	美濃攻略のため、 墨俣城を築城 側室 吉乃 病死39才←信忠、信雄、徳姫の母		東・奥三河国を平定 松平→ 徳川 に改姓
1567 (永禄10)	近江浅井長政と同盟。 お市の方を送る 稲葉山城斎藤竜興を落とす→ 岐阜と改名		長男竹千代9才は、 信長長女徳姫9才と 結婚 竹千代「 信康 」に改名
1568	足利義昭・信長 上洛	←信元も上洛	
1570	朝倉・浅井 姉川の戦い	佐和山城を攻める	姉川の戦いに参戦 岡崎城→浜松城へ

「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 徳川 家康
1572		信元 浜松城で 家康を助ける→	武田信玄に三方ヶ原 の戦いで完敗し 浜松城へ敗走
1573	信長 将軍義昭を 追放		武田信玄 伊那駒場 にて労咳で没す
1575 5月	長篠の戦い 織田・水野・徳川連合軍 VS 武田勝頼→ (滅亡)		
1576 1月 (1575)	信長、佐久間信盛 の諫言を受け、家 康に信元殺害を 命じる	信元 武田との 内通を疑われ殺 される 織田・徳川合意か？	家康 大樹寺へ久松 俊勝に案内させ信元を 呼出し殺害 重臣の平岩親吉、 石川数正が殺害 (於大の方は恨んだ)

「桶狭間の戦い」その後の三者のできごと

西暦年	 織田 信長	 水野 信元	 徳川 家康
1576	信長安土城へ 緒川・刈谷城とも讒言した佐久間信盛領となる (水野氏離散)		
1579	信長が徳姫からの訴状を受け家康に信康の <u>処刑</u> を命じたとされる		家康の決断 信康 二俣城で切腹 築山御前 殺害 三男 秀忠誕生
1580	佐久間信盛 大阪石山寺攻めで責められ追放	水野氏の再興 忠重は信元を継ぎ刈谷城へ、忠守は緒川城へ復帰	
1582	本能寺の変 信長没	家康の3大危機 1三河一向一揆 2三方ヶ原の戦い	堺 → 伊賀越え 岡崎城へ帰還

刈谷城

参考文献 など

東浦町誌

東浦町誌 資料編

東浦歴史散歩

歴史散策路 於大のみち

於大の方と水野一族

ああ緒川城 於大への思い

村木砦の戦い

東浦の歴史と文化 2017

(東浦ふるさとガイド協会 発行)



これ以外にも、インターネットなどで調べた項目もあります。

ご静聴 ありがとうございます
ございました